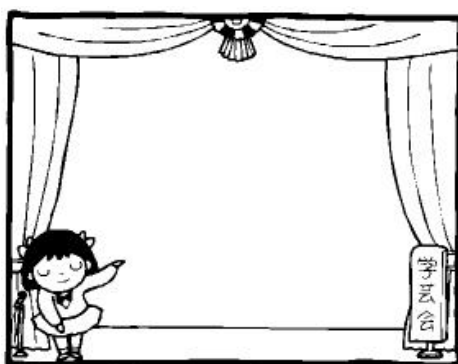


山の上村で あつたとす

台本・音楽 作 さすらい

台本 2000.8.10. ~ 8.20.

音楽 2000.8.21. ~ 8.28.



00小学校4年 組 []

あ ら す じ

第一場

にぎやかなお祭りの日に、奈津は村の子どもたちと知り合う。子どもたちに村の話を聞く。村のことを教えてくれた村の少年、のぼる、かける、はかせと仲良くなる。

第二場

次の朝学校に向かう奈津は、山から下りてくる大人達とすれちがう。大人達は、山から取ってきた高山植物をかかえていた。

学校に着いた奈津を仲間達は冷たく迎える。のぼるたちは、奈津の顔を見ても知らん顔。授業の中身もどこか変。そして、奈津が思わず口をはさんだときおそろしいことが……。仲間達の顔が動物の顔に変わっていく。そして、先生の顔まで……。動物たちは、人によって奪われた自然や居住環境についての、怒りを口々に言い立てた。これまでの迫害の歴史を。そのとき、奈津をさがしに来たノボちゃんの声が聞こえる。あつというまに山の上の小学校も仲間も消えてしまう

第三場

奈津は、のぼるのじつちゃんから村の昔の話を教えてもらう。じつちゃんだけは、奈津の体験の話を信じてくれる。

動物たちの痛みのメッセージを奈津はしっかりと受け止める。そして、自分に来ることはないか必死で考えた末、ある計画を思いつく。

第四場

次の日から、何かをまきながら歩いている奈津の姿が見られるようになった。来る日も来る日も奈津は何かをまいていた。ところが、その行動を怪しまれる。

第五場

奈津の歩き回ったところすべてに美しい花が咲き乱れていた。奈津は、ずっと種をまいていたのだ。それが、動物たちへの奈津のせめてもの気持ちだった。村人達は奈津の気持ちを理解した。しかし、その時奈津のすがたは村になかった……

大道具・小道具

第一場

おみこし おはやし関連（テープ可）

お祭り風の衣装人数分

第二場

花

リュックサックとハイカー衣装各（四人）

児童用机といす（十五人）↓いすだけでも可

動物のお面・しっぽ（十五人）

クマダ先生の衣装 シンバル（効果音）

第三場

じっちゃんの座る石

第四場

種の袋

第五場

村人の仕事着（九人）

郵便屋さん風の服と帽子とカバン・自転車

花でできるだけたくさん

子どもの服装は普段着・ただし、同じ

役をちがう子がやる場合似たものにそ

ろえる。（例「ナレーターと奈津」）

主 題

狭められ、荒廃の兆しのある自然環境。次々に絶滅種が出そうな生物（朱鷺、トラ、サイ、パンダなど）。人間と自然との調和、他の生物との共存を考えようというメッセージを込めてこの物語を作りました。里山等に人の手が入らなくて荒れてくる問題には踏み込んでいませ

音楽・・・上演時間等によつては省略可

○ 挿入歌

1 開幕の歌 『祭りだ祭りだ』

2 動物たちの歌 『動物たちの歌』

3 奈津の歌 『私にできること』

4 ハイカーの歌 『花ぬすびと』

5 終幕の歌 『花の丘』

○ BGM（生演奏でも良い）

1 おはやし

2 効果音（シンバル）

3 奈津のテーマ（種まき）

上演にあたって

○ この台本は、現学年の人数、規定上演時間に合わせています。上演時の人数・時間によつて、セリフやキャストのカット・追加は、話の流れを壊さない限り可。

○ 舞台だけでなく、会場、ひな壇、ギャラリーなど空間を活用するのが良い。（咲き乱れる花など）

○ テーマを明確に打ち出す。

○ キャストの男女にあわせて、言葉遣いの変更をする。

○ 音楽は、時間が許す範囲で使う。

○ 大道具は簡略で良い。最後の花だけはたっぷり。

○ 必要によりキャスト一人二役や二人一役可。

○ 照明・BGM操作等を児童に任せても良い。

○ 台本・音楽とも著作権は作者にありますので、使用する

場合はお知らせ下さい。（sasurabito@nub.biglobe.ne.jp）

表紙カット

「学校のイラスト」(M P C)

登場人物

プロローグ

00 ナレーター
(奈津)・

第一場

01 奈津・

02 のぼる・

03 はかける・

04 はかせ・

05 大人・

06 大人・

第二場

奈津・ 第一場と同じ

08 ハイカー・

09 ハイカー・

10 ハイカー・

11 ハイカー・

12 ノボルダヌキ

13 カケルダヌキ

14 ハカセダヌキ

15 クマダ先生

16 リスオ・

17 シカタロウ・

18 ヒバリ・

19 コンスケ・

20 チュンコ・

21 ヤマネ・

22 サルヨ・

24 ミミコ・

25 ネズオ・

26 タカコ・

27 ケロスケ・

28 フクロウ・

のぼる・

かける・

はかせ・

第三場

奈津・ 第一場と同じ

のぼる・ 第一場と同じ

かける・ 第一場と同じ

はかせ・ 第一場と同じ

29 じっちゃん

第四場

奈津・ 第一場と同じ

30 のぼる・

31 かける・

32 はかせ・

33 村人

34 村人

35 村人

36 郵便屋

37 ハイカー

38 ハイカー

39 ハイカー・

40 ハイカー・

41 ハイカー・

42 ハイカー・

ナレーター・ プロクと同じ

(奈津)

43 村の女

44 村の女

45 村の女

46 村の女

47 子ども

48 子ども

49 子ども

第五場

のぼる・ 第四場と同じ

かける・ 第四場と同じ

はかせ・ 第四場と同じ

50 村人

51 村人

52 村人

53 村人

54 村人

55 村人

56 村人

57 村人

58 村人

59 郵便屋

ナレーター・ プロクと同じ

(奈津)

ナレーター
(奈津)

挿入歌 1

開幕の歌

奈津
のぼる
奈津
かける
のぼる
奈津
かける

プロローグ

こんにちは。私は安藤奈津。ねえ、きいて、きいて。私、と
つても不思議な体けんをしたの。父さんの仕事のためにお引
っこした山の上村で、その事件は起こったの。村は、ちょ
うどお祭りですつてもにぎやかだったわ。

第一場 山の村

「祭りだ祭りだ」

祭りだ祭りだ みんなあつまれ
ワッショイ ワッショイ
ワッショイ ワッショイ ワッショイ ワッショイ
祭りのたいこだ ひびくよひびく
心おどる リズムにのつて
子どもの夢よ 飛んでいけ
子どもの夢よ 飛んでいけ
祭りだ祭りだ 祭りだ祭りだ (わ〜い！)

にぎやかなお祭りの人ごみ。きよるきよるしながら上
手から奈津がやってくる。下手から村の男の子たちがや
ってくる。

すごい人ごみ。まいごになっちゃったあ。おーい、私のうち
どこへいった。もどってこい。
おまえ、みたことないやつちゃな。どこの子だ？
あら、こんにちは。私はきょう引越してきたばかり。安藤
奈津っていうの。
あんドーナツだった。うまそう。
(奈津に) おまえ、ちょっと後ろをむいてみるよ。
なんでよ。(言いながら一回転する。)
だいじょうぶ。しっぱいはないよ。

舞台正面 幕の前 スポットのみ

開幕

照明全開

のぼる

奈津

はかせ

かける

はかせ

のぼる

はかせ

奈津

はかせ

大人

大人

大人

のぼる

かける

のぼる

かける

奈津

のぼる

はかせ

のぼる

奈津

かける

奈津

かける

奈津

じゃあ、本物の人間だ。

何よ。失礼ね。

おこらないで。これには深いわけがあるのであります。

おれ、かける。

あだなは、こけるであります。

おれはのぼる。みんな、ノボちゃんてよんでるよ。

のぼるばかりでくだりが無い、くだらないとも言います。

あなたは？

村一番の物知り、はかせとそんけいされているのがこのぼくであります。

おい、どいたどいた。何ぼけーとつつ立っているんだ。

もうすぐここをおみこしを通る。あぶないぞ。

もつとはじへよって。真ん中はあけてくれ！（下手に向かつて）

おい、こつちだ。こつち。

子どもたち舞台の手前はしに寄ってしやがみながら話す。

おみこしは通り過ぎる。

この村の辺りは、昔はやぶや草っぱらだけで、人はいなかったんだ。

そこらじゅうにウサギやタヌキがたくさんいたんだって。

あとから人がうつてきて、家や畑になったんだ。

動物はすめなくなっちゃった。

かわいそう。じゃあ、草っぱらはもうどこにもないの？

草っぱらや森は、ずっと上に行かないと残っていないよ。

ところがであります。今でも動物がこの辺にいますといううわさがあります。

人間にばけてるんだって、うちのじいちゃんが言ってた。

まあ、こわい。あんたたちちよつとうしろ向いてみてよ。

ばか言うなよ。おれたち人間だぜ。ほら、見てみる。

（三人、おしりをパンパンとたたいて見せる。）

じょうだんよ。ところで、学校ってどこにあるの？明日、

おはやしが聞こえてくる。

おはやしとおみこし

舞台から会場に抜けていく。

【BGMおはやし】

のぼる

初めて行くの。
ああ、それなら、そのうら山の道をのぼったとこさ。
じゃあな。あした学校であおうぜ。

第二場 山の学校

奈津

山の上小学校はどこなのよ。みあたらないじゃない。

ハイカー

（花をかかえている。）ずいぶんとれたなあ。

ハイカー

東京に持って帰ったら、みんなほしがるぞ。

ハイカー

あら、あげないわよ。うちの庭に植えるのよ。

ハイカー

それよりも、売ったらもうかるんじゃない。

ハイカー

そりゃあいい。もとはただだしな。

ハイカー

こんどは車でとりにこようよ。

ハイカー

だまってとるのまずくないか？

ハイカー

平気、平気。だれも見えていないわよ。

奈津

登山者たちは、わらいながら通りすぎていく。

奈津

（ふりかえりながら）なんか感じるいい人たちね。

ノボル

あつ、みつけた。学校が見えた。おーい、のぼるくん。

ノボル

・・・・・

奈津

あら、どうしたの。だまっちゃって。かけるくん、はかせ

ノボル

おはよう。私よ、奈津よ。

カケル

お前なんか知らない。

ハカセ

お前なんか知らない。

奈津

お前なんか知らない、であります。

クマダ先生

へんねえ、どうしちゃったのよ、三人とも。

クマダ先生

みんなすわりなさい。授業がはじまるぞ。

奈津

（あたりにいる子どもたちはみんなすわる。）

クマダ先生

クマダ先生、みなさん、今度転校してきた安藤奈津です。

子どもたち

ろしくおねがいします。

クマダ先生

（いっせいに立ち上がった）きゃーっ！（ざわざわざわ）

クマダ先生

しずかにしなさい。ウォーッホン。（シーンとなる。）

暗転

照明全開

舞台下から奈津が歩いていく。

ハイカー達は舞台上からおりて来て

途中ですれちがう。

舞台上 教室風景（いすだけでも可）

クマダ先生

はじめに算数じゃ。りすがドングりを四こひろった。あとか

リスオ

はーい、クマダ先生、答えは0こです。

奈津

なによ、それ。七こでしょう。

リスオ

ひろいながら食べちゃったからでーす。

その通りじゃ。よくわかったのお。次は、家庭科。

シカタロウ

草や木の芽や木の皮でーす！

ヒバリ

ちがいまーす。木の皮じゃなくて、木の実です。

コンスケ

そうじゃないよ。なまの肉に決まってるよ。

チユンコ

あら、虫だつておいしいわよ。

奈津

ちよつと、ちよつと、みんなの答え変よ。

クマダ先生

いやいや、みんな正しいのじゃよ。けっこう、けっこう。

奈津

そんなあ。先生までどうしちゃったんですか。

クマダ先生

では、総合学習じゃ。きょうは、みんなの住んでいるかんき

ヤマネ

ようについて考えてみよう。

サルヨ

ぼくたちの住む場所はせますぎると思います。

ミミコ

遊び場なんかほとんどありません。

奈津

どこへ行つてもきけんばかりです。

ネズオ

山の中の村も、東京と同じね。

タカコ

食べ物がりなくて、おなかぺこぺこ。

ケロスケ

食べ物をとる場所が少ないんです。

フクロウ

どんどんせまくなつてきています。

奈津

このままだとみんなうえ死にだつて母ちゃん言つてた。

ノボル

みんな大げさね。

カケル

なんだつて。もう一度言つてみるよ。

ハカセ

お前に言われたくなんかないね。

奈津

あんたが悪いのであります。(みんな背中を向ける。)

クマダ先生

ちよつとお。それつてどういうこと？

クマダ先生

まあまあ、お前たち。おちつきなさい。

~~~~~

照明消すその間に動物の面をつける  
照明赤【効果音】（シンバル）

そこへ人間たちがやってきて、木を切りたおし、草っぱらを焼きはらい、私たちを追いはらったわ。

食べ物をさがす場所もどんどんせまくなったわ。

わしの父親は、食べ物をさがしていたら人間とはちあわせ。さんざん追いかけて、てつぽうでうたれてしまったよ。

クマダ先生

今に、ぼくたちの住むところもえさも

花も虫も、元の所にいる方が幸せなのに。

かわりに、カンやビンやごみを置いていくんじゃ。ビニール

も私がやっ  
たんじゃ  
ないわ。

クマダ先生

動物たち男

動物たち 女

動物たち 全

挿入歌<sup>2</sup>  
動物たち  
歌の

♪

「どこへ」

この山は もともとぼくらのすみかだった  
野原には 花がさいて 水もきれいだった  
そこへ人が来て ぼくらのすむ  
森を切った 山を焼いた 動物たちを追いはらう  
てつぼうでうたれた仲間たち（セリフ）  
山も森も死にかけて  
住む場所なく えさもない  
私たち 私たち どこへいけばいいの  
森を返して 山を返して 野原を返して（セリフ）

♪

遠くから声が近づいてくる。

おーい、奈津。

おーい、あんドーナッツ。

返事をするのであります。

あつ、のぼちゃんたちだ。おーい、こっちよ。

とつせん辺りが真っ暗になる。しばらくしてもとにもどると、今まであった学校も動物たちも消えている。

照明清す

【効果音】（シンバル）

照明全開

のぼる、お前、こんな所でまよってたのか。  
いつまでたっても学校に来ないからさがしに来たんだよ。  
みんな心配したであります。  
三人とも、後ろを向いて。（後ろを向かせる。）  
しっぱはない。よろしい。こんどは本物だ。

暗転

第三場 奈津の決心

のぼるのおじいさんをかこんでみんな話している。

照明全開

じっちゃん  
奈津

なるほど、おもしろい体けんをしたもんじゃのう。  
みんな笑うだけで、本気で聞いてくれないの。じっちゃんは

信じてくれる？

じっちゃん

ああ、信じるとも。

奈津

ああ、よかった。ありがとう。

かける

うちのかあちゃんなら、「あほくさ。」ていうだけだ。

はかせ

おとなは想像力がないのであります。

じっちゃん

じっちゃんが子どものころはな、もうちいっと、人間と自然

が近かったんじゃない。

奈津

どういうこと？

じっちゃん

みんなこの土地に食べさせてもらっていると思っていたん

じゃよ。だから、仕事を終わると、山に向かってありがとう

と言ったもんじゃ。

のぼる

自然に感しやしたんだね。

じっちゃん

その通り。木を切るときも、若い木は切らないように気をつ

けて、古い木を必要な分だけ山から分けてもらったんじゃないよ。

かける

どうしてなの？じっちゃん。

じっちゃん

古い木を切ると、すきまができて風も通るし、日当たりも良

はかせ

くなる。小さな木がすくすくそだつんじゃ。

じっちゃん

すごく科学的であります。

はかせ

木を全部切ると、むき出しになった山を水が流れてこう水に

なるし、えいようのある土がなくなつて、土地がやせてしま

うのじゃ。

元にもどるのに何百年かかるかわからない。

奈津

動物はどうしていたの？

じっちゃん

草っぱらや森がたくさんあつたから、動物は村には来ないし、

人間も動物の所にはいかない。すみ分けができていたんじゃ。

りすが冬のためにどんぐりを土にうめる。するとそこから芽

を出す。だんだん森に育つ。りすや小鳥は、たねを配達して

くれる郵便屋さんだったんじゃないよ。

奈津

じゃあ、今は？

じっちゃん

開発が進んで、自然がどんどんなくなつておる。今に動物は、

一ぴきもくらせなくなつてしまつじやろつ。あんたがやさし

奈津  
のぼる  
かける  
はかせ  
奈津

挿入歌3  
奈津の歌

のぼる  
かける  
奈津  
はかせ  
奈津

い子なので、そんな動物のひめいが聞こえたんじゃ。  
そんな。かわいそう。  
しょうがないよ。人と動物はかたき同士だもの。  
人間第一さ。当然。  
人がさかえ、自然がほろびる。運命であります。  
何か私にもできることないかなあ。あの動物たちやこの自然にしてあげられること。（かん客に向かって）ねえ、何か  
良い考えないかしら？

「私にできること」

きのうのできごと 心に残る  
このままわすれてよいものだろうか  
山の上の動物たちの声 今も耳に残っている  
えさがたりないよ すむばしよがない  
山も森も丘も あれてしまった  
私はこのままわすれはしない 私に出来ること  
考えましょう 考えましょう

（手を打ちながら）そうだった！良いことを思いついた。これなら私にもできるわ・・・きつと・・・  
私は、知らん顔する人間じゃないわよ、見ててクマダ先生！

第四場 奈津の秘密

奈津が、ポケットの中のものを左右にまきながら歩いている。

おい、奈津。さつきから何まいているんだよ。  
手をふって、歩きながらいたいそうしてるのか。  
うふふふふ。  
いや首のたいそうでありましょう。  
やあね。ちがうわよ。

照明消す

奈津だけにスポット

スポット消す

奈津にスポット

奈津の歩く道は、舞台の前、舞台上  
観客席とあちらこちら。最後に舞台。

【BGM奈津】奈津が歩くとき

照明全開

奈津は、歩いているうちにいろんな  
相手とすれちがう。

のぼる

奈津

かける

はかせ

奈津

村人

村人

村人

奈津

郵便屋さん

奈津

ハイカー

ハイカー

ハイカー

## 插入歌4

ハイカ

## 歌の

じゃあ、教えるよ、水くさいじゃないか。  
うまくいくかわからないから、まだ、ひ・み・つ。  
ちえつ、けちんぼ。

ダイエツトしているのではありません。そのうちに教えてあげる。

(少し歩いていくと村人に会う)

おや、安藤さんとこのドーナツツじょうちゃんじゃないか。こんな所で何しているんだ。

あんた、きのうもおんなじことやってたでねえか。

何のまねだね、それは。ごみまいてるのか  
ちがうわよ。でも、ひ・み・つ。

(少し歩いていくと郵便屋さんに会う)

なっちゃんこんにちは。こんな所で何をまいているんだ。

こんにちは、郵便屋さん。まだひみつなの。またね。

(後ろからハイカーたちがくる。ふくろをかついでいる。)

はっはっは、この間はもうかったなあ。

今度はふくろにたつぷりつけていこうぜ。

ここへくれば、花を好きなだけ持っていける。天国だな。

「花ぬすびと」

ぼろいもうけ 山の花畑

ただより安いものはない

どうせだれも見えてはいないのさ

だれにもいうなよ お客さん

(客席とピアノに「いいえ」)

おじさんたち、山に何の用なの。

おじさんたちはハイキングだよ。

ハイキングに、どうしてそんな大きなふくらみがあるの

これはな、雨がふってきたらかぶるんだよ。

照明消す

スポーツを追いかけ

【BGM奈津】奈津が歩くとき

【BGM奈津】 奈津が歩くとき

照明青

奈津  
ハイカー

奈津

ナレーター

(奈津)

村の女

村の女

村の女

奈津

子ども

子ども

子ども

奈津

のぼる  
かける  
はかせ  
村人  
はかせ

うそっ！ 花は山のもの。取ったりしないで！  
うるさいやつちゃん。おい、かまわないから行こうぜ。  
(ハイカーたち、さっさと行ってしまおう。)

動物たち、ごめんなさい。あなたたちがおこるわけね。私、  
がんばらなくっちゃ……。

(奈津、また何かをまきながら歩いていく。)

私は、毎日まき続けたの。雨がふっても、風がふいても。  
私の通るところに、動物たちの足あとがついていたの。見て  
いてくれるんだなって思ったわ。何をまいてるかかって？ 今に  
分かるわ。でも村の人には、変に思われたみたい。

ねえねえ、あの子、毎日何をまいているか知ってる？

そんなことわかるわけじゃないでしょ。でも、何か変よね。

どっかおかしいんじゃないの、あの子。

しー、こっちに来る。知らん顔して。

こんにちは。(何かをまきながら通りすぎていく)

やーい、お前またごみをまいているのかよ。

畑の野菜がかれたら、お前がまいているものがあやしいって

父ちゃんいつていたぞ。

あんたと口を聞くなつて母ちゃん言っていたわよ。

あとちよつと。きつとうまくいく。がまん、がまん。

### 第五場 花の丘(エピソード)

のぼるが走って登場。あとから、カケル、ハカセ  
村人たちが来る。

おーい、みんなあ。こっちへ来て見る。大変だよ！

(きよるきよるして)うわあ、たまげた。

(ややおくれで)これはすごいことであります。

どうしたんだ。お前たち、何をさわいでいるんだ。

は、は、は、花、花・であります。

照明消す

スポット奈津を追いかける

【BGM奈津】奈津が歩くとき

ナレーターにスポット 舞台上手そで

スポット消す(ナレーター退場)

照明青 スポット奈津を追う。

舞台真ん中に村の女たち

【BGM奈津】奈津が歩くとき

子どもたち追いこしていく。

暗転

【BGM3フェードアウト】

スポットのみ

舞台上手から子どもたち

おくれで下手から村人たちが出てく  
る。

かける  
のぼる

村人

一同  
村人

村人

のぼる  
かける

村人

はかせ  
かける  
のぼる

郵便屋

かける  
はかせ  
のぼる  
奈津

花がいっぱいさいているんだよう。

ほら、村のまわりも、道のあたりも、丘も山も、そこら中花だらけだよ！

こらあ、うそ言うな。このあたりに花なんか……うわあ、本当だあ。村も丘も山も花だらけだあ……

・・・（間。見とれていて声が出ない。）

おい、これは、あの奈津って子が、いつも何かまいていた所じゃないか。

じゃあ、あの子は、今までずっと花の種をまいていたんだ。それなのに、わしらは、かげで悪口を言ったりして……奈津のやつ、山があれていくのを心配していたものな。

住むところのなくなっていく動物たちのことも。わしらみんな、あの子にあやまらなくちゃいけないな。

早いほうがいい。おい、だれかあの子をよんでこいよ。それは、むりであります。よべないのであります。

あんドーナツツのやつ、もういないんだ。消えちまったんだ。お父さんの仕事で、またひっこしたんだ。（しみじみと）あ

いつに、この花のじゅうたんを見せてやりたかったな。（自転車を引いてくる）おい、のぼるにかけるにはかせ。

女の子から手紙が来ているぞ。あんドーナツツからだ、ほら。

早く読みたいであります。

じゃあ、読むぞ……山の上村のみなさんお元気ですか……・・・わたしはとっても元気です。ひっこしが急で、さようならも言えませんでした。ごめんなさい。

花の種をまいていたのじゃないしよにしているごめんね。言えなかった。はずかしかったし、うまく芽がでるかわからなかったし、笑われそうだったし。でもね、私、山の上小学校で動物たちが言っていたことわすれられないの。「山が死んじやうよ、森が死んじやうよ、私たちどこへ行けばいいの」っ

照明全開（村人のせりふのおわりにあわせて）

会場、舞台の上に、ギャラリーにたくさんのお花  
少しずつ後ろに全員が集まって並ぶ  
（全出演者 村人も動物も）

照明しぼり上手そでの奈津にスポット  
【BGM 奈津】

奈津は書いた手紙を読んでいる

村人

村人

全員で  
のぼる

挿入歌 5  
終幕の歌

てね。だから、私に出来ることないかって考えてみたの。そして、花どろぼうのために、山があれていくの思い出して、そうだ、山を花でいっぱいにしてうってひらめいたの。どうなったかな、私のまいた種。ちゃんと育ったかな。目をつぶるとお花畑がうかぶんだ。花いっぱいいっぱいの上村がうつるんだ。動物たちのことも。

こちらの町でも、私に出来ることないかさがしてみます。みんなも、山の上の動物たちや自然のことをわすれないで。・生き物たちの声を聞いてみてね。・奈津より子どもにまけてはいられんな。わしらも、山に木を植えることにしようか。

動物たちとの共存を考えんといかん。賛成！

奈津のやつ、草っぱらや山といっしょに、とうとうおれたたちの心の中にまで、花をさかせちゃったよ。

### 「花の丘」

花がさいたよ 希望の花が

やっほう やっほう

やっほう やっほう やっほう やっほう

山も野原も七色畑 動物たちもやってこい

やさしい心がさいている

花の丘の物語

みんな集まれ 希望の明日へ

あゝ

幕

【BGM奈津フェードアウト】  
スポット消え 照明全開

歌い終わったら、全員で礼。

